

エコアクション21 2024年度 環境経営レポート

対象期間：2023年10月1日～2024年9月30日



発行：2024年11月22日



目 次

	ページ
[1] 環境経営方針	(2)
[2] 事業活動の概要	(3)
事業活動と環境活動の取組みの流れ	
対象事業所(全社)	
組織図	(4)
役割分担表	(5)
[3] 環境経営目標と主要な環境経営計画および全社達成率	(6)
[4] 環境経営目標と環境経営計画の実施：取組結果(実績)の評価	
1. 管理部門	(7)
2. 厚板営業部門	(8)
3. 生産部門	(9)
4. 倉庫部門	(10)
5. 薄板営業部門	(11)
[5] 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	(12)
[6] 環境経営目標項目別の評価と次年度の取組内容	(13)
今後の環境経営目標	
[7] 代表者による総評	(13)
[8] 環境保全・地域活動	

[1] 環境経営方針

基本理念

当社の事業活動が地域および次世代の環境に及ぼす影響を常に考え、住み良い環境の実現のため、経営のあらゆる面で環境に配慮して行動する。

基本方針

この理念のもと、当社が行う各種コイルの切断加工並びに販売および倉庫業に関する事業活動が環境に与える影響を考慮し、以下の環境保全活動を全組織で推進する。

1. 事業活動の全領域で、省資源・省エネルギー・資源リサイクル・公害防止に配慮した活動を行い、グリーン購入にも努める。
2. 環境経営システムと環境保全の改善を継続的に推進する。
3. 環境関連の法規制、条例および当社が賛同するその他の事項を遵守する。
4. 次の項目を環境保全の重要項目として目標を設定し、取組み結果を見直すことにより、継続的な環境改善に取り組む。
 - ① 省資源、省エネルギーの推進（CO₂排出抑制）
 - ② 廃棄物の削減
 - ③ 水使用量の削減
5. この方針を達成するために、教育・訓練の実施、社内広報活動の実施などにより、全従業員の環境保全活動に関する意識を高める。

平成20年3月3日制定
平成23年2月1日改定
平成27年2月6日改定
平成30年4月1日改定



村山鋼材株式会社

代表取締役社長 **村山 和雄**

[2] 事業活動の概要

事業所名	村山鋼材株式会社
代表者	村山 和雄（代表取締役社長）
所在地	〒 279 - 0012 千葉県 浦安市 入船 1 - 5 - 2 プライムタワー 新浦安 15F
環境管理責任者	正：小林 伸治（薄板営業部執行役員） 副：波村 定利（技術サービス部長 補佐）
連絡先	EMS21事務局 千葉 新一（経営企画室 課長代理） TEL：047 - 305 - 6112 FAX：047 - 305 - 8900 E-mail：s-chiba@mks-gr.co.jp
従業員数	全社：101名
売上高	173億円（令和6年9月30日：全社第72期）
事業内容	コイルの切断・販売、営業倉庫業及び太陽光発電事業 営業倉庫業許可番号：開運倉 第225号

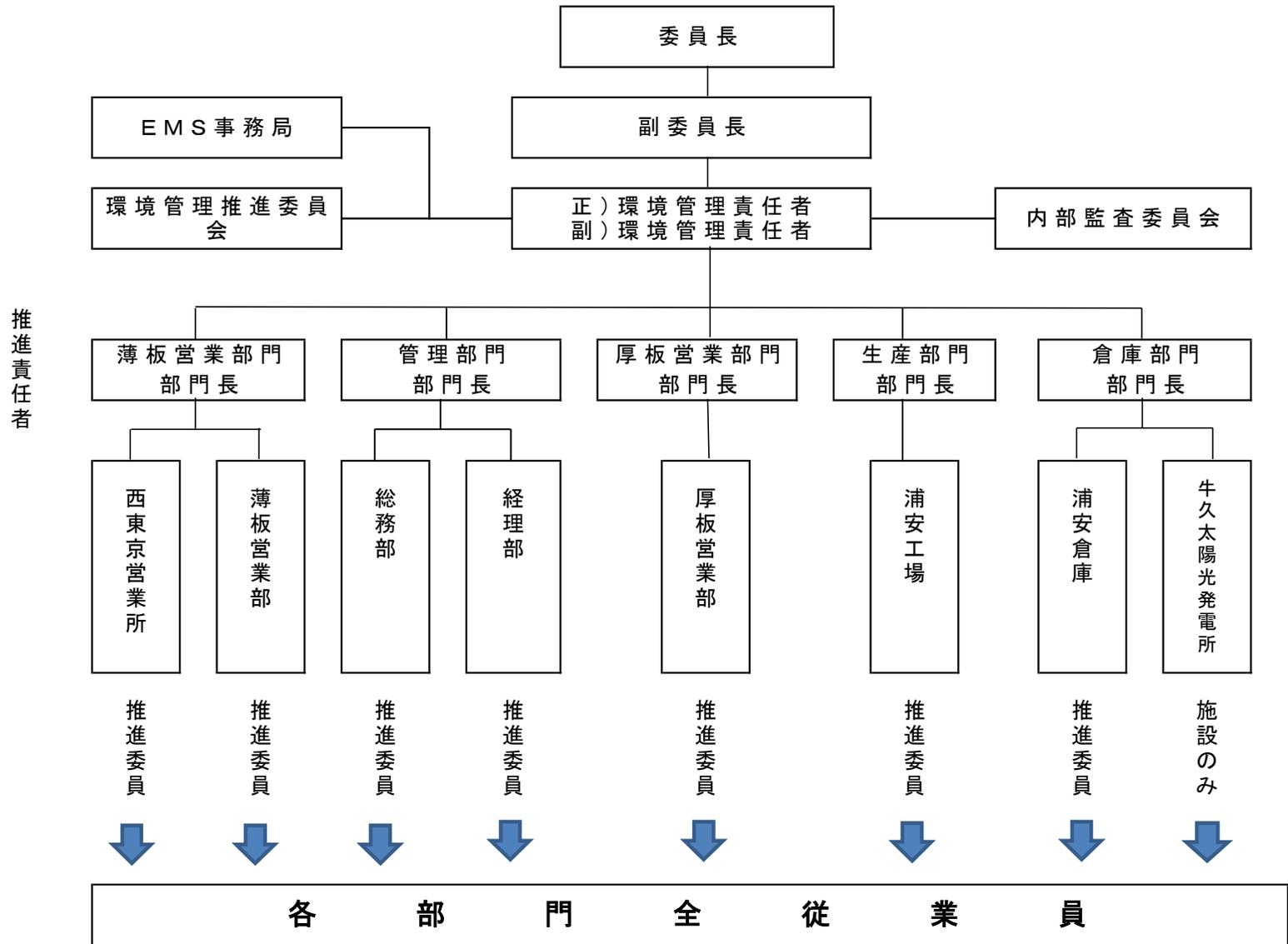
事業活動と環境活動の取組みの流れ

1942年 3月	本社創業（東京都大田区森ヶ崎）
1952年 10月	村山鋼材シャーリング(株) 設立（村山鋼材(株)の前身）
1972年 6月	東京第二工場開設（東京工場）
1974年 7月	東京工場の ジャンボ・カッティング・ライン（JCL-1）操業開始
2007年 12月	環境経営システム（EA21）講習会参加
2008年 1月	弊社は EA21ガイドライン2004年版 による活動を EMS21 と称し、 環境経営システム（EMS21）の組織を構築（本社及び東京工場）
2009年 1月	エコアクション21 認証登録を取得
2012年 6月	JCL-1 を浦安工場へ移設し、東京工場を閉鎖
2013年 2月	管理部門を浦安へ移転
2013年 10月	茨城県牛久市へ太陽光発電所を開設
2017年 12月	地域未来牽引企業に選定
2019年 8月	船橋倉庫、契約満了につき、継続契約締結せず（閉鎖）
2020年 4月	薄板営業部、事務所ビル改築工事完工により仮事務所から移転、営業活動開始
2020年 9月	北関東営業所、設置目的達成につき閉鎖
2024年 6月	神奈川営業所、設置目的達成につき閉鎖、薄板営業部と統合

対象事業所（全社）

管理部門	〒 279 - 0012 千葉県 浦安市 入船 1 - 5 - 2 プライムタワー 新浦安 15F	TEL：047 - 305 - 8008
厚板営業部門	〒 279 - 0024 千葉県 浦安市 港 47	TEL：047 - 350 - 1171
生産部門	〒 279 - 0024 千葉県 浦安市 港 47	TEL：047 - 350 - 0869
倉庫部門		
浦安倉庫	〒 279 - 0025 千葉県 浦安市 鉄鋼通り 2 - 6 - 13	TEL：047 - 380 - 1171
牛久太陽光発電所	〒 300 - 1283 茨城県 牛久市 奥原町 1650 - 77	
薄板営業部門	〒 144 - 0033 東京都 大田区 東糀谷 3丁目 14 - 13	TEL：03 - 3743 - 5161
西東京営業所	〒 208 - 0035 東京都 武蔵村山市 中原 1 - 8 - 1	TEL：042 - 520 - 6761

EMS21組織図



推進責任者

< 役割分担表 >

所属	役割、責任および権限
委員長 村山社長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営方針を策定し、社員に周知する。 ・ 年に一度の進捗審査を行い、評価し見直した結果を次年度の方針に反映する。 ・ EMS21の実行に必要な資源(人・もの・資金・情報)を準備する。 ・ 環境管理責任者と環境管理推進委員を任命する。 ・ EMS21の全体的な取組み状況を評価し、適時見直し適切な指示を行う。 ・ 内部監査人を任命する。 ・ 「経営における課題とチャンス」を整理し明確にする。
副委員長 村山副社長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営システムを構築し、委員長を補佐、及び代行する。
環境管理責任者 (正)小林伸治執行役員 (副)波村部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営システムの構築・運用を実行する。 ・ 環境経営レポートを取り纏め、委員長・副委員長へ報告する。
EMS事務局 (局長)荒巻執行役員 千葉課長代理 鈴木係長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種データを集計する。 ・ 各種文書を管理する。
環境管理推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 製販会議あるいは市場開発会議(毎月1回)において、エコ関連の議題を提起、発議して啓蒙活動を行い、都度協力を要請する。 ・ 実施状況の確認と必要な措置を検討する。
各部門環境管理 推進責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自部門の環境経営目標を定め、取組み課題と具体的な方法を決定する。 ・ 自部門の環境教育を立案し、推進する。
各部門環境管理 推進委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自部門の環境活動計画の具体的な取組み内容を実践し、推進する。
内部監査委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ EMS委員長の任命を受け、内部監査手順書に沿って行う。 ・ 年2回内部監査を実施する。
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営方針・環境への取組みの重要性を理解する。 ・ 自主的、積極的に環境活動へ参加する。 ・ 関連する法規制等を遵守する。 ・ 防火・防災訓練を計画通り実施する。 ・ 必要に応じて是正・予防措置を実施する。 ・ 代表者による改善事項等、是正指示を確実に実行する。

[3] 環境経営目標と主要な環境経営計画および全社達成率

管理部門、厚板営業部門、生産部門、倉庫部門、薄板営業部門の事業計画に於ける環境への負荷を低減するために、全従業員が取り組んでいる環境経営目標と主要な環境経営計画の内容は、以下の通りである。
次年度以降についても、原則として同様の内容で活動に取り組む。

環境経営目標項目	単位	2024年度（72期）			判定
		目標値	実績値	達成率 [%]	
省資源の推進					
コピー用紙購入量の削減	冊	619	551	112	○
水資源の削減	m ³ / 年	1,047	1,200	87	×
二酸化炭素排出量の削減（省エネルギー、産廃）					
省エネルギー					
電気使用量の削減（生産部・倉庫以外）	kWh / 月	6,079	6,053	100	○
電力原単位の向上（生産部）	kWh / t	6.84	6.19	110	○
電力原単位の向上（倉庫部）	kWh / t	0.71	0.97	73	×
社有車の燃費向上					
ガソリン	km / ℓ	18.70	19.97	106	○
軽油	km / ℓ	6.11	6.19	101	○
廃棄物排出量の削減					
一般廃棄物（生産部以外）	kg	1,759	1,550	113	○
産業廃棄物（生産部）	kg	4,608	5,330	86	×
二酸化炭素排出量					
	kg - CO ₂ / 年	—	666,921	—	—
レーザー鋼板用の加工技術の推進	—	クレーム件数の増減により評価			継続中
社会貢献	—	工場見学、インターンシップ受入			継続中
	—	小学校出張授業			継続中

- ※ 東京電力エナジーパートナー（株）の
二酸化炭素の基礎排出係数は、0.447 kg-CO₂ / kWh。
（2022.1.7 公表の環境省・経済産業省資料より）
- ※ 2023年度の全社二酸化炭素総排出量は、
692,736 kg-CO₂
- ※ 2013年度より、全事業所が対象。
- ※ 二酸化炭素排出量については、
目標値を策定しません。



シンボルキャラクター ジャンボ
（薄板営業部）

[4] 環境経営目標と環境経営計画の実施：取組結果（実績）の評価（1）

△：目標達成 [カッコ内の数字は、目標値 - 実績値]

▲：目標未達 事業年度：前年10月～当年9月

1. 管理部

環境経営目標項目 (評価・コメント)	単位	摘要	2024年 取組結果	達成：○ 未達：×
省資源の推進（節水他）  				
コピー用紙購入量削減 (1冊：A4用紙 500枚)	冊	目標値	199	×
		実績値	200 (▲1)	
内部監査人の評価	《達成率》・コピー用紙：99 % ・コピー用紙購入量削減：文書電子化に取り組んでいるが、紙で保存しなければならない資料もあり、削減効果が上がらない状況にあるが、引き続き取り組みを推し進め、達成率の向上を目指して下さい。			
省エネルギー   				
電気使用量の削減	kWh / 月	目標値	1,119	×
		実績値	1,170 (▲ 51)	
内部監査人の評価	《達成率》・電気：95 % ・電気使用量の削減：※ 照明・空調は、全館管理のため、照明のLED化等、こまめな温度調整は不可能 外出時、不使用時のPC電源OFF、昼休みの執務室内の消灯等、取り組んでいるが目標値は未達となっている。人員の増加等、環境の変化もあるが消灯の継続等、日常のこまめな管理の実行を再徹底して電力消費量の削減を図っていただきたい。			
一般廃棄物の削減と二酸化炭素排出量の実績     				
一般廃棄物の削減	kg	目標値	383	×
		実績値	446.2 (▲ 63.2)	
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	目標値	5,975	×
		実績値	6,276 (▲ 301)	
内部監査人の評価	《達成率》・一般廃棄物：85 % ・二酸化炭素排出量：95 % ・一般廃棄物の削減：昨年より排出量は若干減っているが目標には未達である。一因として、ペットボトルの排出量が増加しているとの事 対応策として、ウォーターサーバーを導入しており、効果の発揮に期待する。 ・二酸化炭素排出量の削減：今後も暫くの間は、文書データ化による一般廃棄物の排出量増加が見込まれるが、上記同様に排出タイミング及び溶解処理に回す等 効果的な排出を実行してCO ₂ 排出量の削減を進めていただきたい。			

[4] 環境経営目標と環境経営計画の実施:取組結果(実績)の評価 (2)

△ : 目標達成 [カッコ内の数字は、目標値 - 実績値]

▲ : 目標未達 事業年度 : 前年10月 ~ 当年9月

2. 厚板営業部

環境経営目標項目 (評価・コメント)	単位	摘要	2024年 取組結果	達成:○ 未達:×
省資源の推進(節水他)  				
コピー用紙購入量削減 (1冊 : A4用紙 500枚)	冊	目標値	219	○
		実績値	200 (△ 19)	
水使用量	m ³	目標値	183	×
		実績値	227 (▲ 44)	
内部監査人の評価	<p>《 達成率 》 ・ コピー : 109 % ・ 水 : 80 %</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コピー用紙購入量削減 : 目標219冊に対して、200冊と19冊(9,500枚)の削減。裏紙に使用する書類の整理を行い、引続き目標値内に収める事。 ・ 健康・衛生管理上、手洗い・うがい等による水の使用増が未達の要因と考えられる。今一度、社員に節水を心掛ける様、促して下さい。 			
省エネルギー   				
電気使用量の削減	kWh / 月	目標値	2,212	○
		実績値	2,133 (△ 79)	
社有車の燃費向上	km / ℓ	目標値	20.83	○
		実績値	21.72 (△ 0.89)	
内部監査人の評価	<p>《 達成率 》 ・ 電気 : 103 % ・ 燃費 : 104 %</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電気使用量の削減 : 事務所のエアコン温度管理の徹底とPC・照明器具の間引き等、電気製品のこまめな活動と残業時間の減少により、目標を達成した。引続き継続願いたい。 ・ 社有車の燃費向上 : 一年を通して積極的に涉外活動に専念した事もあり、社有車の使用頻度が増えたが、結果、燃費良いHV車に略入れ替えた事により、燃費が向上した。引続きエコドライブを慣行する様に促す事。 			
一般廃棄物の削減と二酸化炭素排出量の実績     				
一般廃棄物の削減	kg	目標値	252	×
		実績値	280.8 (▲ 28.8)	
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	目標値	11,814	○
		実績値	11,443 (△ 371)	
内部監査人の評価	<p>《 達成率 》 ・ 一般廃棄物 : 89 % ・ 二酸化炭素排出量 : 103 %</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般廃棄物の削減 : 削減可能なものとして、各自が生活ゴミの削減を心掛け、目標達成を目指す事。 ・ 二酸化炭素排出量の削減 : (ガソリン含まず) CO₂ の排出に関連し、事務所内での主たる要因は電気使用量であり、エアコン・PC・照明等に左右される為、今後もマメな消灯等の慣行が必要になる。目標は達成しているので、引続き削減に努める事。 			

[4] 環境経営目標と環境経営計画の実施：取組結果（実績）の評価（ 3 ）

△：目標達成 [カッコ内の数字は、目標値 - 実績値]

▲：目標未達 事業年度：前年10月～当年9月

3. 生産部

環境経営目標項目 (評価・コメント)	単位	摘要	2024年 取組結果	達成：○ 未達：×
省資源の推進(節水)  				
生活用水の削減	m ³	目標値 546 実績値 633.7 (▲ 87.7)		×
内部監査人の評価	《達成率》・水：86 % ・生活用水の削減 水の使用量については、熱中症対策や安全衛生面でのシャワーや手洗い、うがい等を慣行していた事もあり目標達成には至らなかった。しかし、感染予防対策を行う折り、日々の節水努力を各自、細目に続ける事。 また、生産に影響を及ぼさず、限られた人数で1年を通し活動できた事は評価できる。今後も、可能な限り労働の平準化を図りながら、目標に近づける様に努力する事。			
省エネルギー   				
電力原単位向上	kWh / t	目標値 6.84 実績値 6.19 (△ 0.65)		○
内部監査人の評価	《達成率》・電力原単位：110 % ・電力原単位向上 生産量は前期前期に引続き低調の中、電力原単位は残業の減少や工程の平準化等、工夫して厳しい状況下に対応した事もあり、目標電力原単位以内に収める事が出来た。また、工場内の棟毎にクレーンや照明等をマメに消灯している事も評価できる。今後も、安全性と効率性等、状況の変化に対応し、目標達成に努力する事。			
産業廃棄物の削減と二酸化炭素排出量の実績     				
産業廃棄物の削減	kg	目標値 4,608 実績値 5,330 (▲ 722)		×
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	実績値 537,413 471,232 (△ 63,481)		○
内部監査人の評価	《達成率》・産廃：86 % ・二酸化炭素排出量：113 % ・産業廃棄物の削減 産業廃棄物について、紙類(コイルの梱包用紙)が増えてきている。今期2回紙類を出荷しており、受注の内容の変化が見られる。不必要な廃棄物等の整理は、安全面・環境面で評価に値する。今期様子を見ながら必要であれば、目標値の見直しを検討する事。 ・二酸化炭素の排出量の削減 引続き、企業として安全性・効率・カーボンニュートラルに向け、積極的に取組む様にして下さい。			

[4] 環境経営目標と環境経営計画の実施：取組結果（実績）の評価（4）

△：目標達成 [カッコ内の数字は、目標値－実績値]

▲：目標未達 事業年度：前年10月～当年9月

4. 倉庫部

環境経営目標項目 (評価・コメント)	単位	摘要	2024年 取組結果	達成：○ 未達：×
省資源の推進（節水他）  				
コピー用紙購入量削減 (1冊：A4用紙 500枚)	冊	目標値	60	○
		実績値	50 (△ 10)	
生活用水の削減	m ³	目標値	146	×
		実績値	156 (▲ 10)	
内部監査人の評価	《達成率》・コピー：120% ・水：93% ・コピー用紙購入量削減：裏紙の使用等、引き続き、削減意識を持って活動を継続し、目標値を達成出来たことは評価出来る。今後も取り扱い量の増減に関わらず目標値を達成できる様、気を緩める事無く削減活動の継続を願う。 ・生活用水の削減：下期より、トレー、トラックの取り扱い量増加と、作業要員等 稼働人員の増加、衛生関係他、生活用水の使用量も増加した為、目標未達となっている。コピー用紙削減と同様に取扱い量が増加した場合は、目標達成に不利な状況になるが、引き続き削減意識を持って活動を継続していただきたい。			
省エネルギー   				
電力原単位の向上	kWh / kg	目標値	0.71	×
		実績値	0.97 (▲ 0.26)	
内部監査人の評価	《達成率》・電力原単位：73% ・電気使用量の削減：一部顧客の取扱量の減少影響、クレーン故障もあり効率的な操業が出来ず効率的な操業が出来ず、取扱量が減少した事で原単位が減少したと思われる。今後、一部メーカー絡みのミル移管等もあり取扱量の減少している中ではあるが更に効率的な操業を指向して原単位向上の努力願う。			
一般廃棄物の削減と二酸化炭素排出量の実績     				
一般廃棄物の削減	kg	目標値	778	○
		実績値	563.1 (△ 214.9)	
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	目標値	61,406	○
		実績値	55,263 (△ 6,143)	
内部監査人の評価	《達成率》・一般廃棄物：138% ・二酸化炭素排出量：111% ・一般廃棄物の削減：目標値の大幅な過達により、日頃の一般廃棄物管理が出来ており、削減意識が定着している事が窺える。今後も、日頃の地道な活動が目標達成に繋がっている事を全員にアピールしながら、更に削減意識の高揚が図られ活動が効果的に推進される事を期待する。 ・二酸化炭素排出量の削減：操業環境の変化に対応しながら、目標値を達成している事は評価出来る。継続管理願う。 今後も多様な操業環境の変化に柔軟に対応する事で、結果を伴う活動が継続的に実施される事を期待する。			

[4] 環境経営目標と環境経営計画の実施：取組結果(実績)の評価(5)

5. 薄板営業部

(西東京営業所および神奈川営業所を含む)

△：目標達成 [カッコ内の数字は、目標値 - 実績値]

▲：目標未達

事業年度：前年10月～当年9月

環境経営目標項目 (評価・コメント)	単位	摘要	2024年 取組結果	達成：○ 未達：×
省資源の推進(節水他)  				
コピー用紙購入量削減 (1冊：A4用紙 500枚)	冊	目標値	141	○
		実績値	101 (△ 40)	
生活用水の削減	m ³	目標値	172	×
		実績値	184 (▲ 12)	
内部監査人の評価	<p>《達成率》・コピー：139%、水：93%</p> <ul style="list-style-type: none"> コピー用紙購入量削減：紙の電子化が進み効果が出ている、裏紙の再利用、PDFの活用を継続していることが、削減に繋がっている、引き続き削減努力をすること。 生活用水の削減：水道使用量が未達で有る、夏の暑さが長引き、シャワーの使用、事業所の集約にて人数が増え、使用量が増えているが、引き続き削減意識を高めること。今期実績を取り、目標値変更を検討する。 			
省エネルギー   				
電気使用量の削減	kWh / 月	目標値	2,748	×
		実績値	2,750 (▲ 2)	
社有車の燃費向上	km / ℓ	目標値	ガソリン：16.57、軽油：6.11	ガソリン ○ 軽油 ○
		実績値	ガソリン：18.22 (△ 1.65)、軽油：6.19 (△ 0.08)	
内部監査人の評価	<p>《達成率》・電気：99% ・燃費：ガソリン 109%、軽油 101%</p> <ul style="list-style-type: none"> 電気使用量の削減：目標値は未達で有るが、異常気象でのエアコン使用増加、事業所の集約にて従業員増加等、電気使用量増えているが、引き続き節電意識を高めること。今期実績を取り、目標値変更を検討する。 社有車の燃費向上：ガソリン、軽油ともに、達成している。エコ運転の意識付け、浸透によるところが大きく出ていると思います。引き続きエコ運転に努め、燃費向上に努めること。 			
一般廃棄物の削減と二酸化炭素排出量の実績     				
一般廃棄物の削減	kg	目標値	346	○
		実績値	260.8 (△ 85.2)	
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	目標値	14,676	×
		実績値	14,406 (▲ 270)	
内部監査人の評価	<p>《達成率》・一般廃棄物：132% ・二酸化炭素排出量：101%</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般廃棄物の削減：裏紙再利用、古紙の溶解処理、各種書類のPDF化等により、目標値を達成出来ています。引き続き、気を緩める事無く、管理を徹底し、更なる削減へ向け、工夫を願います。 二酸化炭素排出量の削減：目標未達であるが、社有車の燃費向上、一般廃棄物の削減、コピー用紙の削減等、効果的に出来ている。電気使用量削減へ向け、引き続き削減意識を持ち継続すること。 			

[5] 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社の2024年度に於ける環境関連の適用法令について、遵守されていることを確認した。

また、関係当局より違反等の指摘は、ECO活動開始以来発生していない。

主たる環境法規制等取り纏め一覧表(及び遵守記録)

No.	主たる環境関連法規	条 項 (内容及び基準)	適用される施設・物質等 と 該当する環境影響内容 (適用施設・業務内容等)	当該要求事項(規制事項)	担当 部署	各種届出 書類提出日	見直時期 担当者	遵守 評価時期
1	廃棄物処理及び 清掃に関する法律	産業廃棄物分別保管の遵守	◇廃プラスチック類、布、スケール(酸化鉄)、廃油、一般廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物	分別基準の遵守確認、保管場所、 表示、清掃等	全事業所		2024.10.4 確認 小林部長	2024.10.7 遵守されて いることを 確認
		産業廃棄物の収集、処理委託基準の遵守	◇許可を受けた廃棄物処理業者との契約をすること。 ◇産業廃棄物の処理にあたっては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、収集運搬業者 及び処分業者それぞれと委託契約を締結している。 ◇水銀汚染防止のため、今までの契約先に新たに水銀処理についての契約を追加。	契約書・免許番号の確認			2024.10.4 確認 千葉課代	
		産業廃棄物管理票による管理 (マニフェストの返却確認・記録・報告) (マニフェストの5年間保管)	◇廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、産業廃棄物管理票については、5年間保管し 各都道府県知事宛に報告書として提出をしている。(東京都、千葉県、神奈川県へ提出) 最終処置完了後に送られてくるマニフェストおよび期間が厳守されているかをチェックする	マニフェスト伝票等で適正管理			東京都 2024.5.22 千葉県 2024.5.22 川崎市 2024.5.22 毎年1回 千葉課代	
2	騒音規制法 浦安市環境保全条例	特定施設の届出	◇未届出であった特定施設設置届出書を浦安市長へ提出(浦安倉庫) ◇JCL-1移設に伴い、特定施設設置届出書を浦安市長へ提出(JCL-1、JCL-2) ◇操業時間の延長(2時間)分の特定施設設置届出書を浦安市長へ提出(浦安工場)		浦安倉庫	2011.4.15	2024.10.4 確認 今泉部長	2024.10.7 遵守されて いることを 確認
		境界騒音の規制値遵守			浦安工場	2014.12.8	2024.10.4 確認 小林部長	
3	振動規制法 浦安市環境保全条例	特定施設の届出	◇未届出であった特定施設設置届出書を浦安市長へ提出(浦安倉庫) ◇JCL-1移設に伴い、特定施設設置届出書を浦安市長へ提出(JCL-1、JCL-2)		浦安倉庫	2011.4.15	2024.10.4 確認 今泉部長	2024.10.7 遵守されて いることを 確認
		規制基準の遵守義務			浦安工場	2014.12.8	2024.10.4 確認 小林部長	
4	特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法)	テレビ・洗濯機・冷蔵庫・エアコンの破棄	◇テレビ・洗濯機・冷蔵庫・エアコンのリサイクル料金支払い(廃棄・買換え時) ◇リース先が同法を遵守しているかを確認する	家電リサイクル券にて確認	総務部	乾燥機	2024.7.30	1台 2024.10.7 遵守されて いることを 確認
5	フロン排出抑制法	第16条による簡易点検	◇7.5 kW未満のエアコンを3ヵ月毎に自主点検 ◇コンプレッサーを3ヵ月毎に自主点検	フロンが漏れていないか、異常がない か 室外機を目視でチェックし、記録	各事業所		総務、及び、 各事業所の 担当者	2024.10.7 遵守されて いることを 確認
6	浄化槽	浄化槽法第11条検査	◇保守点検、年4回 ◇毎年1回指定検査機関が行う法定検査	外観検査・水質検査・書類検査	総務部	2024.1.12	2024.10.4	2024.10.7 遵守されて いることを 確認

[6] 環境経営目標項目別の評価と次年度の取組内容

- ・ 水資源の増加について、感染予防対策での、うがい・手洗いの定着が原因の一つに考えられる。
その他シャワー使用、花壇への水やり等により、使用量増加が考えられるので、引き続き予防対策以外での節水も呼び掛けること。
- ・ 電力使用量について、夏の異常な暑さのためのエアコン使用、冬場の電気ストーブの使用等有るが、目標値で収まっている。
引き続き効率の良い作業を心掛け節電へ向けての工夫を行うこと。生産部の電力原単位、目標以内に収める事が出来ている。
今後も目標達成へ向けて、効率の良い作業を目指すこと。倉庫部は、クレーンの故障に伴い取扱量減少が影響して目標未達であるが、効率の良い作業を目指し、原単位向上に努めること。
- ・ ガソリン車について、社有車のHV車への入れ替えもあり、過達となる。エコドライブ運転の継続を行う。
軽油については、エコドライブ運転と共に、長距離の走行経路見直しによる燃費向上と神奈川営業所縮小に伴い、燃費の低い車種を廃車したことが、燃費向上に繋がった。来期も目標過達へ向けて、エコドライブ運転を継続すること。
- ・ 一般廃棄物については過達であるが、一部未達の事業所もあるので、原因を明らかにし更なる削減を目指すようにすること。
- ・ 産業廃棄物、梱包コイルの取り扱いが増え、梱包紙の廃棄回数が2度/年に増している。状況次第で目標値の見直しが必要か検討する。
- ・ レーザー用鋼板については、今期もクレーム件数「0」という結果から、お客様に高評価していただいていると認識する。
引き続き客先での使用感の把握に努める。

今後の環境経営目標

環境経営目標項目は、部門により基準とする年度は異なるが、2024年度の目標値は、以下の通りである。
2025年度以降は、項目により年0.2～1%ずつ削減あるいはアップしていく。

環境経営目標項目		年度	2025	2026	2027
水		m ³	973	963	954
廃棄物	一般	kg	1,742	1,723	1,705
	産業	kg	4,560	4,513	4,465
電気	管理部、厚板部、薄板部	kWh	4,946	4,921	4,896
電力原単位	生産部	kWh / t	6.80	6.77	6.73
	倉庫部	kWh / t	0.71	0.70	0.70
燃費	ガソリン	km / ℓ	18.88	19.06	19.24
	軽油		6.17	6.23	6.29
二酸化炭素排出量		kg-CO ₂	実績値で管理		

[7] 代表者による総評

EA21活動も17年目に入り、活動を通じて企業の社会的責任を果たすことに繋がっている。また、社員一人ひとりの環境活動への意識レベルを向上させることにも大きく寄与し、企業として良い方向に向かっていると確信する。
今後も更に活動が活性化されるようにプログラムを検討し、確実に実行してもらいたい。
昨今は紛争の長期化による原燃料費高騰、人手不足と部品不足による供給制限、米中貿易摩擦や急激な円安などの不確実な世界経済の状況を受け、鉄鋼業界も受注環境は厳しい状況下に置かれている。
しかしこういった状況下でも、今出来ることを着実に各部署で実行してきた結果を評価し、今後の更なる躍進へと繋げる。
第73期(2024.10～2025.9)の事業年度計画に則り、経営理念・ビジョン・行動指針・環境経営方針の重要性を再認識し地域社会との共存共栄を目指す。また新たな3カ年の中期計画2027も発表し、テーマ「新時代への挑戦2027」と決定。経営基盤強化し、揺らぐことのない100年企業を目指す。
今後も環境問題への関心が高まり、更に多くの企業で低炭素製鉄技術の構築や、再生可能エネルギーの導入が進められる。弊社も脱炭素関連投資や省力化投資を行い、環境に配慮した取り組みを全社員が共通課題とし、SDGsの諸活動を通じ、社員一人ひとりの成長を促すことで、会社の安定・成長へと繋げていく。
終わりに、全員の英知を振り絞り、「MURAYAMA SOUL(魂)」を醸成、発揮しましょう。

村山鋼材株式会社
代表取締役社長 村山 和雄

[8] 環境保全・地域活動

○ エコアクション21認証・登録 10年継続事業者表彰記

2019年3月13日 杉並区立高井戸区民センターにて
エコアクション21認証・登録 10年継続事業者表彰記念式が
執り行われ、長年の活動に対する感謝状が授与されました。



○ 電気自動車導入

- ・脱炭素化に向け、走行時の二酸化炭素を抑えることが出来る、電気自動車を購入！
また、薄板営業部駐車場には電気自動車の充電器を設置
更に環境に優しい取り組みへ！！
- ・所有台数 15 台（トラック除く）
- ・電気自動車 2 台
- ・ハイブリッド車 11 台

(令和6年9月30日現在)



○ 太陽光発電



- ・2013年10月9日 開設
- ・敷地面積：約 14,000 m²
- ・太陽光パネル枚数：4,004 枚
- ・定格発電量：980.98 kw
- ・年間発電電力量：約 980 MWh / 年
- ・送電電圧：6,600 V
- ・年間発電量、一般家庭 250 世帯分に相当
- ・2024年度のCO2削減量 600 t になり、
約 4万 3000本の杉を植樹するのと
同等の削減量となります。



○ エコキャップ

回収量: 60.0キロ
個数: 30,000個
ワクチン: 30.0人分

集めたキャップは回収業者に引き渡し、進歩化成株がキャップをリサイクル素材に変えます。キャップはその後、国内でスーパーの買い物かごや柔軟剤の容器に生まれ変わり、売却益は寄付されワクチンの支援活動に役立てられます。

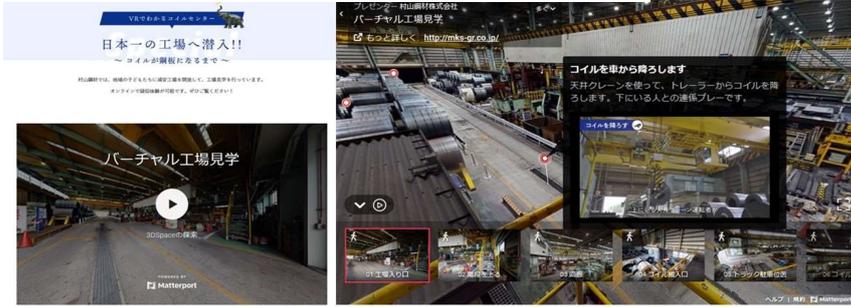
○ 小学校工場見学、小学校出張授業、職場体験学習

- ・子供たちに 浦安工場を学びの場として提供
鉄や鉄鋼団地について紹介し、生活に欠かせない鉄について興味を持ってもらうことで
地域の教育環境向上に貢献。
- ・小学生向け動画「地球にやさしいエコアクションのはなし」公開！
村山鋼材での環境に優しい取り組みを動画にまとめました。



○ バーチャル工場見学

・弊社ホームページより、浦安工場内をバーチャル工場見学をする事が出来るようになりました。工場内を移動することができ、工場内27箇所にポイント(マト)があり、ポイントをクリックすると動画と説明文が流れ、コイルが銅板になるまでを解説しています。いつでも、パソコン・スマートフォンから浦安工場を見学出来ます。



○ 浦安エコカンパニー宣言・浦安鉄鋼団地クリーン大作戦



・浦安エコカンパニー宣言

私達は持続可能な社会を築き将来世代に豊かな環境を残すため環境に配慮した事業活動に取り組むことを宣言しました。令和4年4月1日からの宣言期間1年間経て、2年目以降も宣言に基づく新たな環境保全行動を実践できる事業者にて認定され「浦安エコカンパニー認定証」が交付されました。



浦安鉄鋼団地クリーン大作戦

- ・恒例の浦安鉄鋼団地内クリーン大作戦、会社周りを綺麗に掃除
- ・常に綺麗な浦安鉄鋼団地を目指しましょう。



浦安倉庫



浦安工場



鉄鋼団地主催のグリーンカーテンコンテストに応募

○ 交通安全講習会 & 飲酒運転撲滅 & セーフティドライバーズちば2024 / セーフティドライブコンテスト2024

- ・浦田警察署にご協力頂き、交通安全講習会を実施。交通ルール・交通マナーの重要性を再確認。
- ・**※安全運転 = エコ運転※**
- ・飲酒運転撲滅へ向けて
- ・千葉県 飲酒運転根絶宣言事業所へ登録



○ 警視総監賞受賞

2024年6月20日に、社長が警視庁本部庁舎で春の交通功労者等表彰式典に出席し 緒方 社長が警視総監より警視総監賞を賜り、警視総監感謝状と記念品を授与されました。



○ 災害時のBCP取り組みがメディアに取り上げられる

・2019年12月19日
NHKニュースおはよう日本『おはBiz』コーナーにて
『供給を止めないために』と題し、弊社BCPの取り組みが放送されました。

(※BCP: Business Continuity Planの略称)



○ 防災・避難訓練

・災害の発生を想定し、BCP総合訓練を実施



写真: (仮)対策本部を設置して、復旧対策、お客様への対応訓練を実施中

○ 浦安鉄鋼団地内の「藤澤鋼板株式会社」と協業体制を確立

・コイルセンター業界初の試みとして「藤澤鋼板株式会社」と協業体制を確立
鉄鋼業界の発展に貢献しています。



○ レーザー用鋼板の確性

・弊社レベラーラインで素材コイルから鋼板へ加工した後
2次加工時の(客先での加工時の)平坦度の仕上がりを確認する目的で
定期的に自社プラズマ切断機で確性して品質の安定化をはかっています。

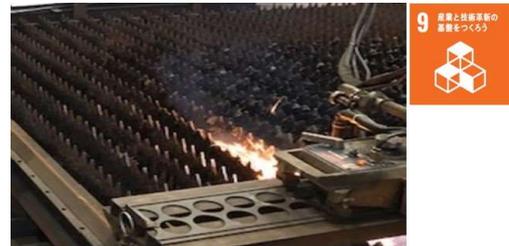


写真: プラズマ切断機による切断の様子

○ 東京都中小企業振興公社 ポータルサイト

東京都中小企業振興公社HPのSDGs経営推進事業ポータルサイトに
弊社のSDGs宣言までの取り組みが、紹介されました
公社のハンズオン支援を活用し、宣言から2030年までのロードマップ作成
までがまとめられています。



2023/12 製造業

自社のCSRに根差した目標設定で
ワークエンゲージメントが向上中

村山鋼板株式会社 (大田区: 薄板営業部)



○ エシカル製品

- ・第一弾
年間に使用する約30万枚のA4用紙をすべて、古紙パルプ配合率100%に変更。
ペーパーレスを推進するとともに、どうしても減らせないものはよりエシカルな製品へ
置換ます
- ・第二弾
海洋プラスチックごみと使い捨てコンタクトレンズの空ケースを使用した再生樹脂を本
体軸材に使用しほぼ100%ポストコンシューマー材で構成されるボールペンを社員へ
配布。



テスト使用とヒアリングにご協力を頂き、ありがとうございます
古紙パルプ配合率100% 使用決定!!



TANOSEE ecoコーパータイプR100

村山鋼材では年間290,000枚を消費します (A4/2023年実績)
290,000枚のA4用紙を削減するために、約1.3トンの木材が必要になるそうです。
古紙パルプ配合の紙を使用すれば、年間の4年の木材を削減から守ることが出来ます!

森林保護 紙材を伐採せずに済むので、森林の保護に寄与します
廃棄物の削減 古紙の再利用によって、廃棄物の量を減らすことができます
資源の節約 木材以外にも、水やエネルギーの使用量を減らすことができます

第2弾!!
エシカル商品
海洋プラスチックごみなどを使用したボールペン



本体軸材に海洋プラスチックごみと使い捨てコンタクトレンズの空ケースを用いた再生樹脂からできており、ほぼ100%をポストコンシューマー材によって構成されるボールペンです (内装部は: 注釈あり)



○ 地域未来牽引企業

・2017年12月、地域活性化の牽引役として日頃より積極的に事業活動に取り組んでいる姿勢が評価され、経済産業省が推進する「**地域未来牽引企業**」に選定されました。
今後共、人材育成、環境保全等で地域に貢献しつつ、取引先、研究機関と取り組みを進めより高品質な製品を提供し、「**トップオリティーを誇るコイルセンター**」を目指します。



○ 健康経営優良法人2024(中小規模法人部門)認定書

健康経営に取り組むことで、従業員のワークエンゲージメントの向上させます。

2024年5月31日世界禁煙デーに合わせ「イエローグリーンリボンキャンペーン」を実施。イエローグリーンリボンは禁煙・受動喫煙防止の普及啓発です。たばこの煙には有害成分が含まれているため健康のみならず、環境課題としても取り組みは必須です。



○ 職場環境改善宣言企業

職場環境改善宣言企業として認定を受けました。
労働法の遵守や職場環境改善の積極的な取り組み、企業経営の健全化の取り組みを社会保険労務士さんが確認・診断し「人を大切にする企業」であることを認定する制度です。

オンラインミーティングが定着し、移動時間やコストの削減ができました。
新たに施行された産休・育休制度も、速やかに会社規則に反映し、働きやすい環境をつくります。



産休・育休インタビュー

野々田 千尋 様
2024年10月 産後3週

勤務先: ISF (国産の紙製おむつ) 株式会社

女性の活躍について**総務部長**の産後3ヶ月の業務中で特に取り組まれている**経理部/総務部**にインタビューしました！！

いま、社内総務で産休・育休を取っている一はどんな感じ？
さらには業務の面で、業務の進捗の遅れや遅れが
発生している点や、会社でできることについてより
詳しくは総務部長のインタビュー記事をご覧ください！！

2024.7.23 13:30~14:30
インタビュー: 野々田千尋(産後3週) / 総務部長

産休前の社員に協力をお願いし社内掲示板で「産休・育休」の
情報共有を行いました

○ もにす認定取得

・障害者雇用で優良中小事業者に認定されました。

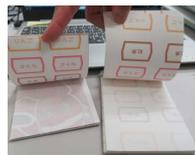


○ 社会福祉法人与自然企画

社会福祉法人ウィズさんと共同企画でメモ帳や卓上カレンダーを製作しました



工場見学に来てくれた小学生にお土産で渡します。



古紙(裏紙)を再利用したメモ帳



○ 千葉ジェッツとパートナー契約を締結

社会貢献プロジェクトに協賛

